

木挽町のあだ討ち

著者名： 永井 紗耶子
出版社： 新潮社

疑う隙なんぞありはしない、あれは立派な仇討ちでしたよ。芝居町の語り草となった大事件、その真相は——。ある雪の降る夜に芝居小屋のすぐそばで、美しい若衆・菊之助による仇討ちがみごとに成し遂げられた。父親を殺めた下男を斬り、その血まみれの首を高くかかげた快拳は多くの人々から賞賛された。二年の後、菊之助の縁者という侍が仇討ちの顛末を知りたいと、芝居小屋を訪れるが——。現代人の心を揺さぶり勇気づける令和の革命的傑作誕生！

朝星夜星

著者名： 朝井 まかて
出版社： PHP研究所

幕末から維新、明治と激動の時代の外交を料理で支えた男がいた——長崎生まれの料理人・草野丈吉で、店の名は「自由亭」。本書は、日本初の洋食屋を長崎で開き、大阪に進出してレストラン&ホテルを開業、近代大阪の発展に貢献した丈吉を、妻ゆきの視点から描いた歴史小説。貧しい農家に生まれた丈吉は、18歳で出島の仲買人に雇われ、ボーイ、洗濯係、コック見習いになる。。。

くるまの娘

著者名： 宇佐見 りん
出版社： 河出書房新社

家族のままならなさの根源にあるものを引きずり出す、思いつきの車中泊の旅。『推し、燃ゆ』に続く、奇跡とも呼ぶべき傑作の誕生。

真珠とダイヤモンド 上

ほんとうの自分に出会う物語
著者名： 桐野 夏生
出版社： 毎日新聞出版

一体バブルとは何だったのか。夢をつかむか、呑まれるか。金と欲が渦巻く証券業界で一発逆転を狙う“バブルの女たち”の運命は？

じゃむパンの日

著者名： 赤染晶子
出版社： palmbooks

時を超えて。生まれ育った京都へのおもい。こぼれだす笑い。『乙女の密告』で芥川賞を受賞。2017年に早逝した著者によるエッセイ55篇。岸本佐知子との「交換日記」併録。日常を描いていながら、想像が羽ばたき、ことばで世界を様変わりさせていく。ここに生きている人たちがいとおしくて、読んでみると、ふしぎと気持ちがあたたかくなる。初のエッセイ集にして、マスターピース。

甘いお酒でうがい

著者名： 川嶋佳子（シソンヌじろう）
出版社： KADOKAWA

この日記の書き手である「川嶋佳子」とは、シソンヌのじろうがコントで長年演じている40代独身女性。「川嶋佳子」はとにかくついていない。しかし彼女は自分の不運を客観的に見て、自分に舞い降りる不幸に意味を持たせることで日常を楽しんで生きている。。。

魔女と過ごした七日間

著者名： 東野 圭吾
出版社： KADOKAWA

AIによる監視システムが強化された日本。指名手配犯捜しのスペシャリストだった元刑事が殺された。「あたしなりに推理する。その気があるなら、ついてきて」不思議な女性・円華に導かれ、父を亡くした少年の冒険が始まる。少年の冒険×警察ミステリ×空想科学 記念すべき著作100作目、圧巻の傑作誕生！

信仰

著者名： 村田 沙耶香
出版社： 文藝春秋

世界中の読者を熱狂させる、村田沙耶香の最新短篇&エッセイ 「なあ、俺と、新しくカルト始めない？」好きな言葉は「原価いくら？」で、現実こそが正しいのだと、強く信じている永岡。同級生から、カルト商法を始めようと誘われた彼女は——。信じることの危うさと切実さに痺れる8篇。

老害の人

著者名： 内館 牧子
出版社： 講談社

迷惑なの!と言われても。昔話に説教、趣味の講釈、病氣自慢に孫自慢。そうかと思えば、無気力、そしてクレーマー。『終わった人』『すぐ死ぬんだから』『今度生まれたら』に続く著者「高齢者小説」第4弾!

真珠とダイヤモンド 下

著者名： 桐野 夏生
出版社： 毎日新聞出版

時代はバブル全盛に。東京本社に栄転が決まった望月と結婚した佳那（かな）は、ヤクザの山鼻の愛人・美蘭（みらん）のほどきで瞬く間に贅沢な暮らしに染まっていた。。。

かか

著者名： 宇佐見 りん
出版社： 河出書房新社

第33回三島由紀夫賞、第56回文藝賞受賞 19歳の浪人生うーちゃんは、大好きな母親=かかのごとで切実に悩んでいる。かかは離婚を機に徐々に心を病み、酒を飲んでは暴れることを繰り返すようになった。鍵をかけたちいさなSNSの空間だけが、うーちゃんの心をなぐさめる。脆い母、身勝手な父、女性に生まれたこと、血縁で繋がる家族という単位……自分を縛るすべてが恨めしく、縛られる自分が何より歯がゆいうーちゃん。

さとりをひらいた犬

著者名： 刀根 健
出版社： SBクリエイティブ

仕事・人間関係・お金・健康…「ほんとうの自分」に目覚めると、心から納得いく人生を生きられる！ 「ほんとうの自分」に目覚めること、それこそが人生に奇跡を起こすたったひとつの方法である。